

「びわ湖の日」についてのアンケート結果について

県では、環境保全について理解と認識を深め、環境保全活動への参加意欲を高める日として、「びわ湖の日」を定めており、平成23年の「びわ湖の日」30周年を機に、これまで行われてきた、琵琶湖を「きれいにする」に、「豊かにする」、「もっと関わる」を新たな視点として加え、3本柱で事業展開を行っています。

「びわ湖の日」に対する率直な意見をいただき、今後のびわ湖の日の取組の充実を図るため、アンケート調査を実施したところ以下の結果となりました。

★調査時期：平成26年10月

★対象者：県政モニター396人

★回答数：270人（回収率68.2%）

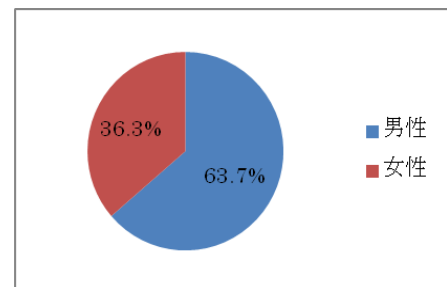
★担当課：環境政策課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

【属性】

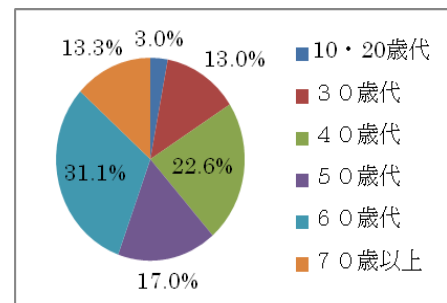
◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	172	63.7
女性	98	36.3
合計	270	100



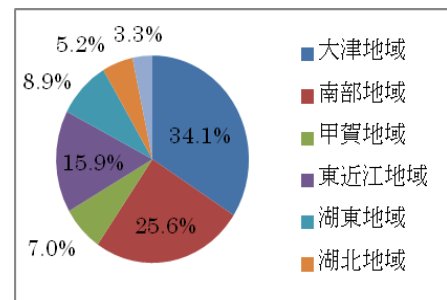
◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	8	3.0
30歳代	35	13.0
40歳代	61	22.6
50歳代	46	17.0
60歳代	84	31.1
70歳以上	36	13.3
合計	270	100



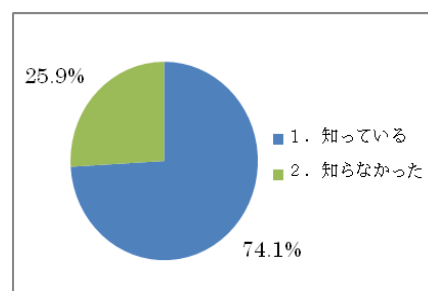
◆地域

項目	人数（人）	割合（%）
大津地域	92	34.1
南部地域	69	25.6
甲賀地域	19	7.0
東近江地域	43	15.9
湖東地域	24	8.9
湖北地域	14	5.2
高島地域	9	3.3
合計	270	100



問1 7月1日がびわ湖の日であることをご存知ですか。

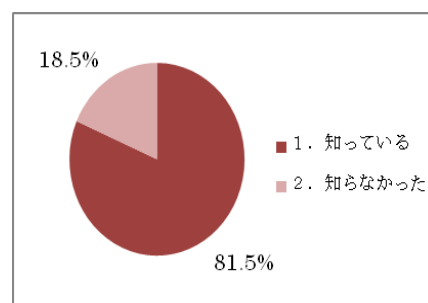
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	200	74.1
2. 知らなかった	70	25.9
合計	270	100



問2 びわ湖の日は「滋賀県環境基本条例」において、環境保全について理解と認識を深め、環境保全活動への参加意欲を高める日として定められています。

これまで、びわ湖の日を中心に、県内一斉に清掃活動が行われてきたことをご存じですか。

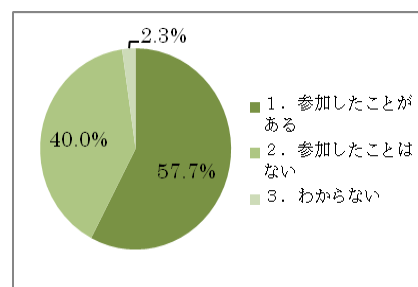
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	220	81.5
2. 知らなかった	50	18.5
合計	270	100



問3 問2で「1. 知っている」を選択された方にお尋ねします。

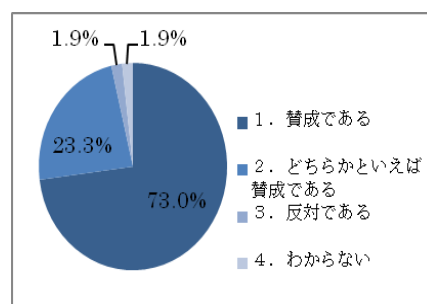
これまで、びわ湖の日の一斉清掃活動(びわ湖をきれいにする運動)に参加されたことがありますか。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 参加したことがある	127	57.7
2. 参加したことはない	88	40.0
3. わからない	5	2.3
合計	220	100



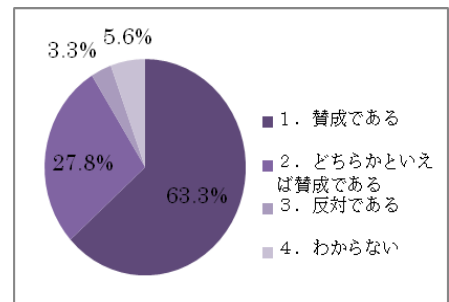
問4 びわ湖をきれいにする運動に加えて、「豊かな生態系を守る」「びわ湖と関わる」といった視点でも、びわ湖の日に環境保全活動を行うといった考えについて、どのように思われますか。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 賛成である	197	73.0
2. どちらかといえば賛成である	63	23.3
3. 反対である	5	1.9
4. わからない	5	1.9
合計	270	100



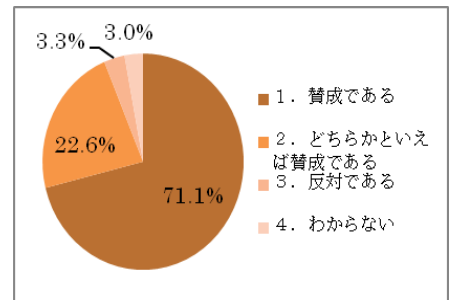
問5 びわ湖の日の成り立ちや活動について、県内だけでなく、県外または世界にも情報発信していくといった考えについて、どのように思われますか。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 賛成である	171	63.3
2. どちらかといえば賛成である	75	27.8
3. 反対である	9	3.3
4. わからない	15	5.6
合計	270	100



問6 びわ湖の日の事業展開について、行政だけでなく、民間事業者や大学などと連携して進めていくことについて、どのように思われますか。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 賛成である	192	71.1
2. どちらかといえば賛成である	61	22.6
3. 反対である	9	3.3
4. わからない	8	3.0
合計	270	100



問7 びわ湖の日に関して、今後、県、事業者、民間団体等に対して期待することなどがありましたらご記入ください。

《PR 活動・イベントの開催について》

- ・環境保全活動を行うことは素晴らしく、多様な活動をたくさんの方の地域で行ってほしい。
- ・イベントを盛り上げて、環境意識を高める活動に結び付けていただきたい。
- ・イベントは事後報告で知るだけなので、事前にまとめた情報を出して欲しい。
- ・7月1日が平日の時は企業の協力なしでは出来ない。大手企業だけでなく中小企業への啓発も必要。
- ・滋賀県内しか知られていないので、マスコミ報道を通じて、もっと広域的にも周知すべきである。
- ・滋賀県では、びわ湖の日は休日にすればいい。
- ・琵琶湖の利用者には他府県の方も多いため、もっと広報し、より滋賀を知って頂く機会になればいい。
- ・一斉清掃活動以外に県民参加のイベントを地域行事にコラボさせて実行すべき。
- ・車でいけない人の事も考えて、駅発の方法も念頭に企画を願いたい。
- ・びわ湖のない市町も積極的にかかわりの持てる事業展開をお願いしたい。
- ・マンネリ化しているので、オオバナミズキンバイ等の駆除等にポイントを定め、対応すべき。
- ・これから年々高齢社会になるのもっと若い世代にアピールする必要がある。

《清掃活動について》

- ・滋賀県内外にこの日にこの地域を清掃するという情報を提供して欲しい。
- ・自治会に入っていない者にも参加できるようになるとよい。
- ・清掃を行う前に、琵琶湖に関する学習会やセミナーを行い、より多くの方の協力を得られれば良い。
- ・どれくらいのごみはどこで出ているのかを知りたい。
- ・清掃活動は環境保全に対しての直接的なメリットだけでなく地域の連帯感を醸成する良い機会。ただし、活動の方法については無駄が多いように思われるので工夫が必要。

《琵琶湖の環境保全について》

- ・琵琶湖湖面に漂う藻に対して、具体的な対策を示して、実行していただきたい。
- ・琵琶湖の外来種を減らすことを官民挙げて取り組んでいただきたい。
- ・河川の水質がよくなっていない。特に、野洲川の汚染が深刻である。工業団地から流出する汚染水について、抜本的な対策が望まれる。
- ・専門家の調査だけでなく、浄化に向けての実行を願いたい。

《官民協働の推進等について》

- ・事業者、民間団体の取組が散発的な取組にならないよう県がお膳立てすべき。
- ・県や事業者、民間団体だけではなく市民、自治体を巻き込んだ取り組みをもっと行ってほしい。
- ・産学官が中心になって更に県民等にわかりやすく具体的目標を示しながらの継続した取組が必要。
- ・多くの組織・年代の参加のほか、環境整備などへの無償の参加者を募るなどして進めてほしい。

《日程について》

- ・7月1日は暑いので、イベントを行うのに良い時期である春か秋に再設定してはどうか。
- ・7月の第1日曜日などにした方が活動しやすい。
- ・年一回ではなく、年二回に拡大し更なる浸透を図ってはどうか。

《指導・教育等について》

- ・学校に働きかけて小学生から琵琶湖の重要性を認識させるべき。
- ・他府県から釣りに来ている人に、マナーや外来魚駆除についての指導を徹底して欲しい。
- ・「びわ湖の日」といった「記念日」的なものに、効果があるとは思えない。環境保全は、特に営利業者に対する教育を徹底するとともに、厳しい罰則を伴う法規制を設けなければ実効性はない。
- ・清掃に児童など低年齢層の人を加え、環境保全の自覚をってもらうなど、学校での教育も重要。
- ・学校で琵琶湖の大切さや環境についての授業のほか、琵琶湖へ遠足に行くなどの行事を増やしてほしい。

《その他》

- ・ボート等の水上モーター船や水上バイクに関してはもっと琵琶湖使用料金を取るべき。
- ・琵琶湖ナンバープレートをつけられるようにして欲しい。
- ・琵琶湖だけではなく川も意識するといい。
- ・琵琶湖は、近畿全体の大切な資源であるため、滋賀県がではなく、近畿地方の府や県が合同で行うべき。びわ湖の日に全府県の知事が一堂に会して、イベントを行うことを提案したい。